

# 人は楽しむために生まれてきた

## 日本国民への提言



たまご理論  
院長 石垣 邦彦

〒581-0061  
大阪府八尾市春日町1-4-4  
電話072(991)3398  
FAX072(991)4498  
ホームページアドレス  
http://www.tamagobl.com/

たまご理論で病気のしくみを考える

58

## 人類よ、めざめよ

日本の国民一人ひとりが、自らの「からだ」の「しくみ」を生かすことで日本を再生する

和田秀樹氏(精神科医)が指摘する(注1)。「日本人の価値観は、コロナに感染して死なないためならほかのどんな書を受け入れても平気だ、ということになっている」。

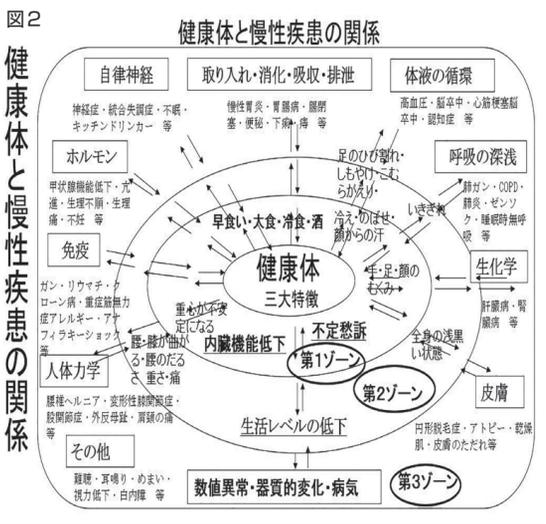
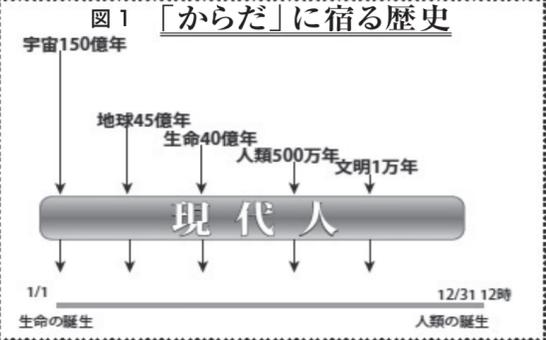
順天堂大学の奥村康特任教授が今の状況に手厳しい結論を言う(注2)。「交通事故をゼロにするために、自動車や飛行機を止めてしまおうという方針に、わたしが前号で指摘したように」。

「新型コロナウイルスより怖いのは、ゼロリスクを求める人類」という現象だ。

しかし、政府をはじめみなさんの努力の結果、本日5月12日の各紙朝刊で、緊急事態34県一切解除への方向で調整に入ったとの報道があった。

新型コロナウイルスを総合的に診ようという観点に世情も移るようになってきた。良い方向だ。政府も自信をもって強力にすすめていただきたい。

前回は引き続き、新型コロナ



健康体と慢性疾患の関係

健康体とは、自律神経、ホルモン、免疫、生化学、皮膚、生活レベルの低下、数値異常・器質の変化・病気の三大特徴を備えている。

### 大阪万博に基本理念を提案する

「からだ」の「しくみ」を生かすことで日本を再生する。そのためには、健康体と慢性疾患の関係を理解し、生活レベルを向上させる必要がある。

健康体とは、自律神経、ホルモン、免疫、生化学、皮膚、生活レベルの低下、数値異常・器質の変化・病気の三大特徴を備えている。この健康体を維持するためには、適切な生活習慣と医療の活用が不可欠である。

大阪万博2025は、健康と福祉のまちづくりの場である。そこで、健康体と慢性疾患の関係に基づいた基本理念を提案する。

1. 健康体と慢性疾患の関係の理解と啓蒙  
2. 生活レベルの向上と健康増進  
3. 医療の革新と患者の権利の保障

### 新型コロナウイルスより怖いのは、ゼロリスクを求める人類だ②

#### コロナショックをコロナチャンスに変えよう

「からだ」の「しくみ」を生かすことで日本を再生する。そのためには、健康体と慢性疾患の関係を理解し、生活レベルを向上させる必要がある。

新型コロナウイルスの感染拡大は、人類にとって大きな課題である。しかし、これは人類の「からだ」の「しくみ」を生かすためのチャンスでもある。

健康体と慢性疾患の関係を理解し、生活レベルを向上させることで、新型コロナウイルスの感染リスクを低減することができる。

「からだ」の「しくみ」を生かすことで日本を再生する。そのためには、健康体と慢性疾患の関係を理解し、生活レベルを向上させる必要がある。

健康体とは、自律神経、ホルモン、免疫、生化学、皮膚、生活レベルの低下、数値異常・器質の変化・病気の三大特徴を備えている。この健康体を維持するためには、適切な生活習慣と医療の活用が不可欠である。

大阪万博2025は、健康と福祉のまちづくりの場である。そこで、健康体と慢性疾患の関係に基づいた基本理念を提案する。

### 表1 人は楽しむために生まれてきた!

～人間の生死は「上腹部のやわらかさ」が指標となる～

ROB治療で「上腹部のやわらかさ」がやわらかくなると…「入り出」がととのい、深く長くこごちよい呼吸ができる

- 呼吸が深くない
- 循環が良くない
- 人体力学が安定し
- 自律神経がととのい
- 内臓全般の動きが活発になる

●生きる力がつく ⇒ 生き方が身につく  
●総合的免疫力がつく ⇒ 予防ができる  
●自然の治癒力がつく ⇒ 治療的確に  
●自然なバランス力がつく ⇒ 自然なケア  
●自然な死への流れができる ⇒ 穏やかな死

■人間の体の自然な「しくみ」が生かされ  
ROB 医療で人生が統合される!!

「からだ」の「しくみ」を生かすことで日本を再生する。そのためには、健康体と慢性疾患の関係を理解し、生活レベルを向上させる必要がある。

健康体とは、自律神経、ホルモン、免疫、生化学、皮膚、生活レベルの低下、数値異常・器質の変化・病気の三大特徴を備えている。この健康体を維持するためには、適切な生活習慣と医療の活用が不可欠である。

大阪万博2025は、健康と福祉のまちづくりの場である。そこで、健康体と慢性疾患の関係に基づいた基本理念を提案する。